国土交通省
東北地方整備局

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

地域を“みず”から守る。
東北流域治水

令和４年９月３０日
秋田河川国道事務所
能代河川国道事務所

より細やかな水害リスク情報を公表します
「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」

国土交通省では、気候変動に伴い激甚化・頻発化する水災害に対応するため、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策である「流域治水」の取り組みを推進しています。

この取り組みの推進を目的として、まちづくりや住まい方の工夫等の参考となるよう、現在と将来（今後実施する河川整備の効果を反映）の浸水範囲と頻度の関係をわかりやすく示す、リスクの見える化に取り組むこととしています。

今般、秋田県内における国管理河川のうち２水系を対象とした「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を公表いたします。

1. 公表内容

「多段階の浸水想定図」は、年超過確率（1／10、1／30、1／50、等）の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

「水害リスクマップ」は、「多段階の浸水想定図」を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生、浸水深50cm以上、浸水深3m以上）を示した図面です。

2. 秋田県内の河川で、今般、公表する河川は以下のとおりです。

〇米代川水系
〇子吉川水系

※現在の「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」は、国管理河川の外水氾濫のみを示しております。

3. WEB サイトURL　：

秋田河川国道事務所（子吉川）

https://www.thr.mlit.go.jp/akita/river/19_koyoshi-risk/index.html

能代河川国道事務所（米代川）

https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/risukumap/risukumap.htm

＜発表記者会：秋田県政記者会、能代記者クラブ、大館記者クラブ、北秋田記者クラブ＞

【問い合わせ】
東北地方整備局
秋田河川国道事務所（子吉川）
秋田市山王一丁目10番29号 電話 018－823－4167（代表）
副所長（河川） 猿田（さるた） 誠（まこと） （内線 204）
調査第一課長 金子（かねこ） 光義（みつよし） （内線 351）

能代河川国道事務所（米代川）
能代市鰄渕字一本柳97－1 電話 0185－70－1001（代表）
副所長（河川） 櫻田（さくらだ） 勉（つとむ） （内線 204）
調査第一課長 細川（ほそかわ） 朋（とも） （内線 351）

［出典：令和4年度水管理国土保全局予算概要（令和4年1月）より抜粋］

水害リスク情報の充実（水害リスクマップ（浸水頻度図）の整備）

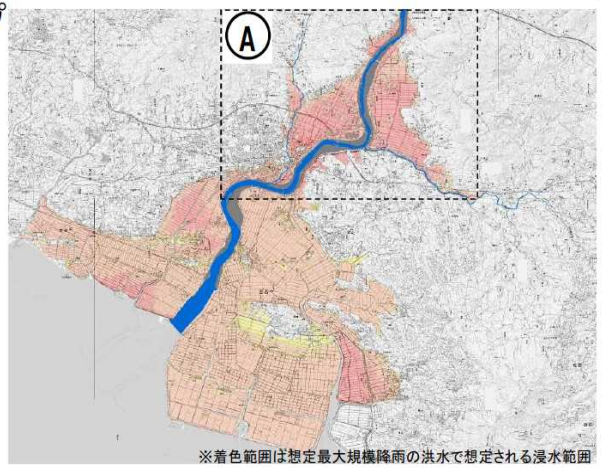
○ 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。

○ 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

水害リスク情報の充実

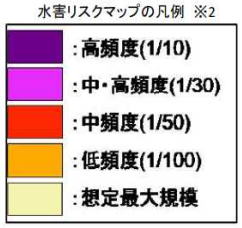
○水害ハザードマップ



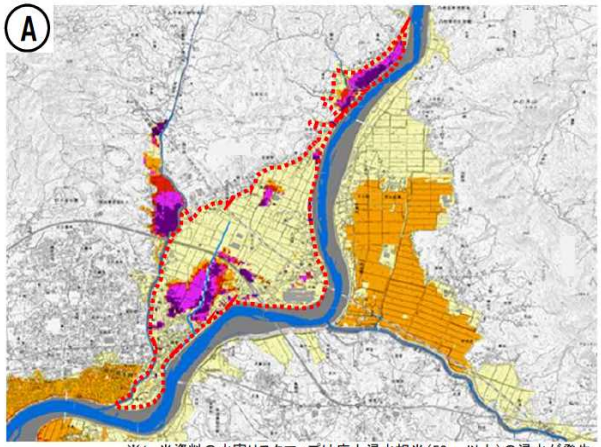


※着色範囲は想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水範囲

○水害リスクマップ※1



※2 上記凡例の（ ）内の数値は確率規模を示していますが、これは例示です。



▪▪▪▪▪ 内水氾濫浸水解析対象範囲

※1 当資料の水害リスクマップは床上浸水相当（50cm以上）の浸水が発生する範囲を示しています。（暫定版）

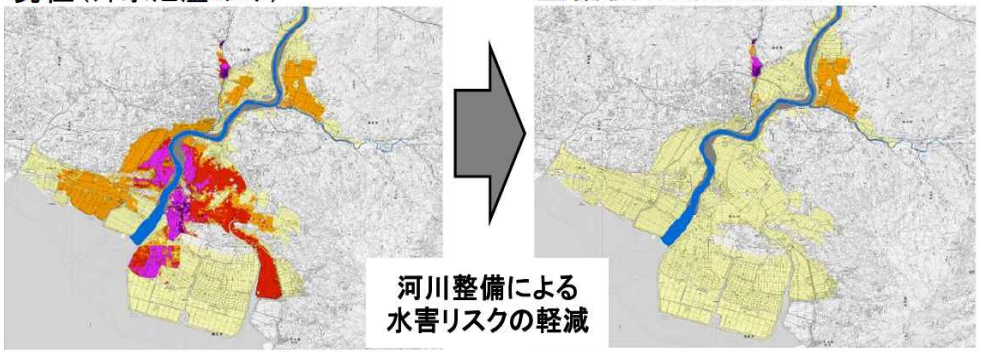
水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

○住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進

○企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在（外水氾濫のみ）　整備後（外水氾濫のみ）



【令和4年度の国土交通省としての取組】

・全国109の一級水系において、外水氾濫を対象とした水害リスクマップの作成を完了させるとともに、先行して、特定都市河川や水災害リスクを踏まえた防災まちづくりに取り組む地区において、内水も考慮した水害リスクマップを作成